

鈴鹿市内に聳える県指定の天然記念物・『長太の大楠』が写っている風景の『大楠が見える風景 写真展』の作品を募集します。 これまでも2017年まで26回続いた『鈴鹿なごの大くす』という写真展があったことは記憶に有ろうかと思いますが、デジタル化されたデータが残されておらず、作品集も無く、其の作品群をもう観ることが出来ません。その写真展を観て感動し、大楠の魅力に嵌った方や、地元の方々も大楠の周辺で繰り広げられる朝夕の太陽と雲が繰り広げる壮大な美しい景色に感動しつつ、その風景を撮影していた筈です。 そんな写真を記録として残し、自由な形で発表し楽しんで頂ければと、新しい「大楠が写っている風景の写真展」を計画し、今回で5回目の開催となります。

写真展を開催する目的は、市街地が間近に迫る中で大楠周辺には高い建物が無く 360° 見渡せるという環境が奇跡的に残っている貴重性に一般の方は気づいていない為に、写真展を通して大楠の保護と大楠を取り巻く美しい風景がいつまでも撮れる環境が保全される事を願い、大楠周辺の環境保全を訴える活動を目指します。 また将来的には、写真展に展示された写真を記録として写真集にまとめ・残す活動を続け、将来を担う若い人達に大楠が見える美しい風景とその環境の大切さを知って貰い、此の会の活動が将来的にも引き継がれるようにしていければと思っています。

そういう中で、地球温暖化の影響により気候が大きく変化しており、2022年夏の猛暑の影響が切掛け?となっており、2020年の落雷の影響が出たのか、現在は一気に葉が落ちてしまい急速に弱っている姿となっているのは非常に残念な状況です。それに対応した保護の必要性が高まっていることも含め、手をこまねいて何もしない訳にもいかないと、美しい大楠周辺の景色を写真に撮って記録として残し発表することで、大楠周辺の景観的価値の大切さや千年もの長きに渡り生き続けている大楠そのものの保護への市民意識の盛り上げを応援したいという思いにて、生物としての大楠が将来においても残っていくことを願う活動の一助となることを願い、本写真展を計画した次第です。

- 記 -

◆『大楠が見える風景写真 公募展』 会場 : 鈴鹿市役所 本館1F 市民ギャラリー

開催期間 : 2024年3月25日(月)~3月31日(日) 8:30~17:00(初日: ~13:00、土曜: 10:00~、日曜: 9:00~)

◆『大楠が見える風景写真 公募展』 募集期間 : 2023年12月2日 ~ 2024年3月5日

(応募者 20~25名に達し次第、締め切ります)

◆『大楠が見える風景写真 公募展』 参加費 : ¥1,000/パネル当たり (「作品集」製作費に充当予定)

展示パネル2枚分を使用する場合は、参加費は¥2000。 (作品集は、Web上で閲覧可能な形態にする予定)

◆『大楠が見える風景写真公募展』 参加規定 :

①「長太の大楠」と分かる一部分が写真の中に写し込まれている作品であること。

②撮影の日時が分かっている写真であること。 スマホで撮った写真でも問題ありません。

(写真展の記録として別途「作品集」を作成する都合上、作品の撮影データ(JPG形式)を提示出来ること。)

③応募作品は、作品集としてネット上等に「一般公開」されることを「了承」したものとします。

④作品中に人物が写っていて、その人物が容易に特定できるような場合は、写っている方の展示承諾を得ること。

(クレーム問題は、基本的に応募者(撮影者)個人にて解決すること。)

⑤本写真展に参加する作品の作成、搬入、展示、搬出に要する諸経費は、自己負担とする。

又、作品の搬入及び展示、作品の撤去と搬出は、出展者が行う事。

⑥作品は白黒・カラーの写真作品とし、プリントサイズは 全紙~2Lサイズいずれでも可とする。

単写真・組写真・単写真の集合体 等々...どのような形式でも可とするが、規定の展示スペース内に収まること。

⑦作品の展示形態は、自由とする。(パネル貼り・額装・台紙貼り付け・プリントそのものでも可とする)

額装する場合は、額の中にはガラスの使用を厳禁とし、アクリル板は可とする。)

⑧展示ゾーンは、応募作品の形態に合わせて展示する予定ですが、展示場所の選定等については

主催者に一任されるものとする。(会場を2種類のゾーンに区分け予定。 詳細別途。)

⑨応募者は、写真展の期間中のいずれかの日において半日は、会場の留守当番を願います。

⑩ その他、「次頁(裏面)参照」 連絡先: 『大楠が見える風景を愛する会』

幹事: 伊藤 智草 090-3481-9135 & 蔭地 敏男 080-5010-4693

## 『大楠が見える風景写真展』の応募における制約事項について

### ◆展示スペースについて

市民ギャラリー内の展示スペースは、「固定パネル」と「移動パネル」の2種類のゾーンがあります。

- ・**固定パネル**は、18カ所所有が、会場最奥部は、観覧には不適と思われるので、使用可能数として17カ所とする。
- ・**移動パネル**は、11枚のみ。（※参加者が多くなった場合は、左記のパネルスペースが、少なくなります。）

固定パネルの展示スペース：（パネル一枚分の境界から左右10cm離れた範囲内）

パネル1枚使用の場合：横 1m × 縦 2.2m（参加人数多の場合）

パネル2枚使用の場合：横 2.2m × 縦 2.2m（参加人数少の場合）（最大のスペース）

移動パネルの展示スペース：（パネル脚同士は、紐やガムテープ等で縛ること）

移動パネル1枚の場合：横 1.8m × 縦 1.2m

移動パネル2枚の場合：横 3.6m × 縦 1.2m（最大のスペース）

### ◆応募受付人数について

上記の展示スペースの関係から、パネル1枚の範囲内に、半切～全紙サイズの額装作品を複数展示する場合は、全紙サイズなら2～3点、半切サイズなら4～5点が限度となります。

固定パネル側なら、縦方向に5作品を並べることも可能ですが、高い位置の展示品は、見難くなります。

参加人数を多くしたいので、一人当たりの展示スペースは「パネル1枚」にさせていただきます。

それでも、「パネル2枚」を必要とする場合は、ご相談に及びますが、出来る限り早めをお願いします。

展示エリアのパネル数は制限がありますので参加者が20～25名程度になった時点で、

応募は締め切りますので、ご了承ください。（応募受付は、早いもの順となります）

### ◆申込時において、展示する形態や必要な展示スペースを事務局（下記の連絡先）に提示すること。

（別紙の「**参加申込書**」に必要事項を記入し送付の事）

展示形態：パネル貼り・額装・台紙貼り付け・プリントそのもの 自由とする。

プリントサイズ：全倍・全紙・半切・A3ノビ・A3・A4・四つ切・六つ切・2L等… 制限無し

必要なスペース：固定パネル 1～2枚、移動パネル 1～2枚（応募者数が多いとパネル2枚は不可）

全体のレイアウト調整において、希望通りのレイアウトにならない場合があること、ご了承下さい。

### ◆展示作品の展示方法等について

「固定パネル」や「移動式パネル」に、展示作品を取り付けは、出展者自身にて行って頂きます。

夫々のパネルへの作品の取り付けは、パネルに釘やピンを刺して、その釘やピンに紐を引っ掛けるとか、額の裏側の枠を利用することで引っ掛ける方法が一般的です。

使用する釘については、主催者側で用意しますが、金槌等の道具については出展者自信で用意して下さい。

### ◆写真展全体のプロデュース等については、愛宕・若松公民館の写真サークル講師 蔭地敏男に一任します。

作品の色調等について、画質が劣悪であるとか他の作品と比べて著しくかけ離れていたり、またピンぼけと判断されるとか、写真では無く過度な加工を施してアート作品的なものだと判断されるものは、展示をご遠慮いただくことご承知おき下さい。

### ◆作品データのメールでの送付先:

蔭地(おおじ)宛 [ny7t-ooj@asahi-net.or.jp](mailto:ny7t-ooj@asahi-net.or.jp)

メールで送付が出来ない場合は、SDカードやUSBメモリー等にて、作品データを提出して下さい。

（※メールで作品データを送る場合は、画像データは2000ピクセル以上の画質を有すること。）